

2019/20 WEEKLY BULLETIN



国際ロータリー第 2790 地区 第 4 グループ

市原ロータリークラブ会報



第 2674 回例会 2020 年 4 月 1 日 (水)

SAA/ 宮武会員 会報担当 / 川島事務局員

事務局 袖ヶ浦市椎の森 385 - 21 株式会社リプラス内

例会場 淡粧

- 点 鐘 篠田会長
- ソング 君が代 奉仕の理想 4 つのテスト
- お客様 宮地元会員
- 会長挨拶



皆様こんにちは。

本日も、まず初めに、新型コロナウイルス感染症について、第2790地区第4グループでは、市原 RC 以外の 5 クラブは、感染拡大防止の為、4月第1例会、第2例会を休会している様です。先月の袖ヶ浦 RC との合同例会は中止となりました。今年度、残りの主な行事としては、年2回実施している挨拶運動等がありますが、市原RCでも今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況を注視して、理事会にて検討し、今後の例会について会員皆様にご連絡致します。

このような状況を受けて、国際ロータリー第2790地区諸岡ガバナーより、ガバナー月信(号外-2)として、「新型コロナ非常時への、4月以降の対応について」と題して、会員の皆様により多く発信をお願いされていますので、本日の会長挨拶の時間に発表致します。

ガバナー月信 号外-2 2020-3-30

新型コロナ非常時への、4月以降の対応について

国際ロータリー第 2790 地区ガバナー 諸岡 靖彦

「目に見えない妖怪がヨーロッパを、アメリカを、世界中を彷徨(ほうこう)している(さまよっている)、新型コロナウイルスという妖怪が…」こんな状況が日に日に急を告げています。前回ガバナー月信・号外をお届けしてから半月余り経ちましたが、地区ロータリアンの皆様の周辺ではどんな出来事がありましたでしょうか?

私の身边では、街から人が去り、ロータリーも含めて会合という会合は中止もしくは延期で、スケジュールはほぼ空白となりました。それでも県や市の公職や、クラブの理事会には出席しましたが、飲食の伴うものはすべて省略。地区ロータリー活動では、青少年交換のインバウンド、アウトバウンド留学生の身の安全を確保するための一連の動きは、RIJYEM(国際ロータリー-日本青少年交換多地区合同機構)の強力な指導の下、青少年交換委員会と内外のホスト並びにスポンサークラブ

との間で、迅速かつ綿密に進められました。お蔭をもちまして、内外計6名の交換留学生の安全が確保されております。4月が新学年度となります米山奨学会事業では、既に来日している新奨学生をこの非常状態の中で、如何に受け容れてゆくべきかを真剣に議論しています。ハワイ国際大会が中止と決まり、心はしばんだファーセンのように虚空をさまよっているかのようです。

ロータリーは年度の締めくくりと、次年度への移行、引継ぎの最後の四半期を迎えます。気力を振り絞り、会合や連絡は新しい手法を取り入れてでも、前に進んで行かなければなりません。

ガバナー補佐の皆様、グループ内各クラブの例会活動状況の把握と次年度クラブの執行体制の確立について進捗を確認ください。財団年次寄付ゼロクラブゼロ目標のチェックをお願いいたします。(財団室ニュース4月号によれば、当地区で3クラブから寄付がありません)

地区委員会の皆様、今年度の事業のまとめと反省をベースに、次年度への引き継ぎを進めてください。

次年度の各クラブの会長、幹事、委員長の皆様、次年度の地区の方向をお示りする地区研修・協議会の進め方については、近く漆原撰子ガバナーエレクトよりご案内があります。今しばらくお待ちください。すべての地区会員の皆様、ご事業もロータリーも、成ってくる因縁を素直に受けとめて、リーダーとしての役割と責任が果たせるよう、心してこの難局に立ち向かいましょう!

以上が、諸岡ガバナーからの最新のメッセージです。

私の状況についてですが、4月着工予定の工事が今回初めて新型コロナウイルス感染症の影響で工事延期になりました。今後も成田空港でのターミナル内での工事についても中止になりそうです。さすがに業種的にテレワークとはならないのが現場での工事ですが、最近、噂されている緊急事態宣言がされれば、現在進行中の工事も止まるのではないかと不安もありますが、こんな時だからこそ「気持ちは、前向きに」いようと思っています。

日々国内で新型コロナウイルス感染症の患者発生と状況の変化の真ただ中で、心配ではありますが、会員の皆様、ご家族の皆様のご健康を心よりお祈り申し上げ、本日の会長挨拶といたします。

ありがとうございます

■奉仕プロジェクト委員会より野口委員長(挨拶運動について)

■会員研修委員会より山本委員長(新入会員オリエンテーション延期について)

本日のメインプログラム

理事会報告 結婚・誕生祝い 会員卓話

卓話者 西村芳雄会員



皆さん、こんにちは。西村でございます。

今やコロナウィルス一色ですね。

前月29日の深夜には志村けんさんが亡くなりました。17日に倦怠感を感じてから2

週間足らずですから怖いですね。ここ数か月の報道を聞き、また見ておきますと、情勢は日増しに悪くなって来ています。経済面では、世界も日本奈落の底に落ちるような印象を受けます。

これは各国の首脳が言っておりまうに見えない敵との戦争だと思います。人類は古代より感染症（ペストや天然痘あるいはインフルエンザなど）で数千万人の死者や罹患者を出しながら戦ってきたそうですが、今回はどうなるのでしょうか。政府も専門家の意見を聞きながら対策や政策を検討しているのですが、混乱しているのが良く分かります。私の会社は、臨海地区の製鉄会社や石油関連会社が得意先で現場作業もありますのでテレワークなどは出来ません。保菌者が出るのが本当に気になります。会社の存亡にも関わってきますので、従業員には気を付けるように言っておりますが、早く終息して欲しいと願う毎日です。

そこで本日の卓話ですが、皆さん、自分史をご存知ですか。1975年に歴史家の色川大吉さんが「ある昭和史—自分史の試み」という本を出版されております。私は、その当時は27歳でしたので気にも留めておりましたが、中高年を中心に自分史ブームが起きました。この自分史を書くという効果は、素材を集め思い出す作業が認知症予防になるとの事です。また、原稿を整理することが、自分の長所や短所あるいは価値観を見直すことが出来るそうです。私も72歳になりました。まだまだ若いつもりなのですが、色々な事がとっさには出てきません。特に名前などの固有名詞がそうです。情けなく思うことがたびたびです。スケジュールでもそうです。ダブルブッキングをしてしまい当日に予定時間の変更をし、冷や汗をかいた事が何度もあります。そこで、私も喜寿になったら時間が有り過ぎるでしょうからボケ防止のために自分史を書くつもりです。今日はそのための原稿の一部になればと思い、生を受けてからここに立っているまでの人生ということで、その中でも特に人生の転換期や転機になったことなどを思いつづま話を致します。

まずは、1948年3月2日に生を受けてからの話です。私が生まれたのは福岡県嘉穂郡ですが、ここでの記憶は残念ながら何もありません。そして幼少の頃に父親の転勤で福岡市の郊外にある粕屋郡山田村に移り住みました。私が育った故郷です。福岡市の繁華街までバスで30～40分位のところですが、私が8歳の時に久原村と合併し久山町となったのですが、小学校までは歩いて30分、中学校までは50分位かかる程の田舎です。当然、徒歩通学です。今思えば、毎日歩いてよく通ったなと思います。この久山町が一躍有名になったことがあります。80年前半に臨時行政調査会の会長を務められた東芝社長の土光さん、この方は「めざしの土光さん」と言われ質素儉約で有名になりましたが、小早川町長の行財政改革をモデルケース

として日経新聞「私の履歴書」欄で称賛されたからです。私はその当時は住んでおりませんでした。誇らしく思ったものです。ところで、日々の父親の勤務態度や行動を見ていますと、謹厳実直かつ質素儉約という看板を背負って生きているように子供心に思っていました。平日の会社勤めは無遅刻無欠勤で、休日には畑を耕して野菜を作り、また、池でフナを釣って夕食のおかずにしたりで、趣味と言えば将棋です。お陰で私もへボ将棋を覚えしました。贅沢とは縁遠い生活でした。その父親に、私は幼い頃より「働かざる者食うべからず」とよく言われたものです。そのような父親の背中を見て育って来たせいか、私は自然と（自分で言うのは僭越ですが）勤勉さが身についていったと思っています。

このような環境で育って来ましたので、とにかく子供心に何か仕事をしなければと思ったのでしょ。最初は小学5年生のときの新聞配達です。これが私の最初の職歴になります。朝早く起きて新聞店に行き、新聞に折り込み広告を入れ、それを肩に担いで配達です。最初は眠いや重いやら、また間違っで配達したら大変だと思ひ、そして冬は寒いややらで労働の大変さが身に沁みました。この経験は仕事に対する責任感を大いに養ったと思います。1年ぐらひ頑張りました。次は中学2年生の時の家庭教師の真似事です。近所の小学生を対象に4～5人を自宅に集めて、私自身も勉強をしながら、彼らの復習や予習などで質問をされた箇所を教えました。これは人に対するの教えかたの勉強になったと思います。次は高校2年生の夏休みに工事現場で日雇い労働の日当稼ぎをしました。しかし、ここでは何の収穫もありませんでした。と言いますのは、一緒に働いていた大人たちが、ただ1日を消化すればいいというような勤務ぶりでしたので。反面教師にはなったと思います。

そして、大学には一浪して入学しました。しかし、当時は学生運動が激しく学校では休講が多くて2年の半ばで中退しました。現在の大学生は政治闘争をほとんど行いませんが、60年或いは70年の安保闘争（日米安保条約改定）は学生も前面に出て運動をしておりました。その後の大学生は革マル派や中核派などに分かれ、70年の安保闘争前後では一段と暴力的になりました。粛清と称し仲間まで殺すほどです。その異常さに国民からは遊離して行きました。私は当時大阪にいましたが、御堂筋は連日学生たちのデモ行進とそれを阻止する機動隊そしてヤジ馬でごった返していました。私は生活に余裕があるわけでもありませんので、学校で勉強ができないのなら社会に出て仕事をしなければと思いました。これが、結果的には私の人生で一番大きな転機となりました。運が良かったのです、その時入社した会社の社長に会えたことが。色々な事を教えられましたし、また、引き立てられもしました。私は25歳にして子会社の常務にも抜擢され、経営の何たるかを少しずつ勉強する事も出来ました。この会社の本業は商品の卸売が主でしたが、73年頃にアメリカから機械を輸入しメンテナンス事業部を新設しました。この仕事の内容は、市原市や鹿島地区などにある石油化学会社等の熱交換器のチューブ内のクリーニングをする事業です。その翌年、社長の親族が発電機等の賃貸業をしていた会社が経営難となり、このメンテナンス事業部が引き継ぐ事になりました。そして、75年の初め頃に、社長から「メンテナンス事業部を母体にし、資金を集めて新会社を設立しお前がやれ」と言われました。これが今の会社です。6月25日に資本金500万円で設立登記をしました。27歳の私はまだまだ経験不足で未熟でしたので、その社長には以後もいろいろと指導を仰ぎました。大恩人です。そして、引継ぎ譲渡に係る債権債務の整理が確定し11月1日より営業開始をしたのですが、正規の債権債務の他にのれん代として1500万円のお荷物、これは不要の土地ですが、背負われました。何しろ年商が6000万円ほどの会社です。毎月の資金繰りが大変です。そこで、この不要の土地を担保に中小企業金融公庫で借入の申込みをしました。赤磐市の評価額は低かったのですが、担当者に簿価の金額でとお願いし1500万円借入する事が出来ました。しかし、少しずつ業績も上がってきた82年頃に大きな苦境に立たさ

れました。油断していたのですね、得意先の倒産です。それも数社ではありません。売上増大ばかりに気を取られ与信管理が出来ていなかったのです。数千万円の焦げ付きが発生しました。自社の機械器具だったらまだしも、他社から借り受けて商売しておりましたので、その支払いはしなければなりません。銀行から借り増しするだけの余力はありません。そこで、メインの仕入れ先でありました三菱系の会社に相談しました。すると、「ポンプの販売をしないか。月1千万円位で約6%のマーゲンがあり、全てこちらで取扱うから」と言われました。そんなうまい話があるのかと思いましたが、相手は三菱系の上場会社の担当部長です。藁をも掴む気持ちで取引を開始しました。ですが、やはり甘い話には大きな落とし穴がありました。全て架空取引・循環取引だったのです。初めの6か月ほどは手形も決済され安心していたところ、月間取引が数千万円と段々多くなり、しまいには受取手形が全て不渡りとなりました。そのため、億単位の負債を抱えました。後の祭りです。7～8年かけて築いてきた信用は泡のごとく脆くも消え去りました。少しでも負債が減ればと債務不存在の提訴をし減額する事で和解もしました。この経済事件は、三菱系の商社が主導したうえ84年11月に破産しましたので新聞にも報道されました。また、これに関わっていたレンタル会社のうち10数社が倒産しました。私も連鎖倒産という文字が頭の中で大きくよぎって来ましたが、自分を信じて、会社存続のために頑張りました。必死でした。何事にも覚悟を持っていろいろと実行していききました。倒産は間違いないと噂が出る中で、商社やメーカーが私を受け入れて下さり取引して頂けるようになりました。そして、90年にバブル経済が破綻し、銀行や証券会社の合併や倒産もありましたが、会社は得意先様のご最良により順調に行き、信用も徐々に回復していききました。このころには負の遺産もあらかた消滅し、92年6月には新規事業として習志野市で足場の工事会社を設立する事が出来るほどになりました。

2004年には、借地で営業していた富津営業所を、君津市大和田に土地を取得し建物を新築し移転しました。大きな投資だと思いましたが、これが後々大きく寄与しました。日本製鉄やその関連会社への売上が飛躍的に伸びていったのです。会社の財務内容も年々改善されていききましたので、支払面でも見直しをしていききました。機械の購入は36回の割賦手形を振り出していたのですが、通常の支払いに切り替えていき、のちには手形決済を全てやめ現金決済が出来るようになったのです。私たちの業界では稀な存在になりました。今では、良くここまで来れたなど、周りを取り巻く皆さんに感謝しております。

そして、社員には言っています。「お客様から取引するに値する会社にしよう。」と。

いろいろと取り留めのない話をしてまいりましたが、私は還暦を迎えました時にロータリーに入会し、その時に、12年後の会計年度を私の集大成の年度とし、社長職を息子二人にそれぞれ譲ると決めました。来年の1月末と2月末です。同年代の始関会員は既に譲られておられますが、どのような心境になるのでしょうか。また、このクラブでも2代目3代目の人もおられますけど、受ける側はどのような心境になるのでしょうか。

以上、愚にもつかない話をしました。
ご清聴ありがとうございました。

■ニコニコ・ソーリー

宮地元会員 本日はお世話になります。退会から4年になりますが、皆様にやさしく声を掛けて頂きました。本日は来期7月から本郷さんが会長になるという年で7月から了承して頂けるなら出戻り致します。その折には宜しくお願い致します。

上野会員 宮地さん、お帰りなさい。入会日は何時にしますか?入会金はサービスしますよ(笑) 又景山さん、中西さんようこそ市原RCへ。

本郷会員 西村さん卓話ありがとうございます。宮地さんようこそ歓迎です。復帰ありがとうございます。又山崎会員知事賞おめでとうございます。

西村会員 本日は脈絡のない話となり皆様のお耳を汚してしまいました。

山崎会員 おかげ様で千葉県優秀企業経営者表彰知事賞を頂く事ができました。これからも今まで以上に皆様のお役にたてるように頑張つて参ります。ありがとうございました。

始関会員 この度の新型コロナウイルス発生に際しまして会員皆様の多大なご厚情、ご支援に従業員一同心より感謝いたします。

ご高承の通り4月1日より改正健康増進法の為、館内は禁煙とさせて頂きます。喫煙される方は屋外の喫煙場所をご利用下さいませようお願い申し上げます。

篠田会長・福原幹事 景山さん・中西さん入会おめでとうございます。これから好意と友情を深めましょう。西村会員今日の卓話ありがとうございました。宮地元会員例会出席ありがとうございます。

■誕生祝 篠田会員 齋藤俊輔会員 星会員 松浦会員 木下会員 藏内会員 深川会員 大槻会員

■結婚祝 三木会員 津留会員 平野会員 木下会員 石橋会員 根本会員 皆様おめでとうございます。

■出席報告

前々回確定 57.40% 本日出席 33名

欠席 26名 本日出席率 62.26%

■点鐘 篠田会長

本日の例会場 淡粋

お魚と大根の煮つけやわらかく美味しく頂きました。

本日の司会 宮武会員



篠田会長挨拶

山崎会員 千葉県優秀企業経営者表彰で
知事賞にアヅマ株式会社山崎社長
おめでとうございます。



元市原RC会員 宮地様

例会に遊びに来て頂きました。

7月から入会して頂けるとの事です。

理事会報告 福原幹事



奉仕プロジェクト委員会の野口委員長より
5月に行う予定の挨拶運動は中止になりました。



会員研修委員会の山本委員長より
4月15日に開催の新入会員オリエンテーション
は延期で又日時が決まりましたら、ご連絡。



新会員 株式会社一心の
代表取締役 景山元晶様と
川岸自動車
代表取締役 中西 洋明様
2名入会して頂きました。

